

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月27日更新

事務事業名		交際事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康	所属部	総務部	課長名	狩野 紀彦
	施策	2	行政改革の推進	所属課	秘書政策課	担当者名	山隈 和徳
	施策の柱	3	計画的な施策・事業の推進	所属班	秘書政策班	(内線)	1 2 3 2
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 11024	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市政の円滑な運営のため、市長等が市を代表して、地域の行事や各種団体の会議などに参加をし、地域住民との交流を行う。また、必要に応じて社会通念上必要と思われる範囲内で、慶祝・弔慰・行事出席の会費などを支払う。以前から地域住民や各種団体との友好を図るために行っている。
【業務の流れ】	①各種団体等からの案内状対応、電報の発信、慶弔確認などを行う。②必要に応じて、各種大会等の祝金、意見交換のための懇談会費、会議等の会費などを社会通念上必要と思われる範囲内で支払う。
【主な予算費目】	【款】 2 総務費 【項】 1 総務管理費 【目】 1 一般管理費 【節】 10 交際費・11 消耗品費・食糧費・12 役務費
【意見や要望】	住民からの交際費の情報公開は必要不可欠であり、適正な支出が求められる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	・ 対外的行事等の調整 ・ 慶祝・弔慰・災害見舞い・行事出席の会費などの支払	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		・ 対外的行事等の調整 ・ 慶祝・弔慰・行事出席の会費などの支払
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 行事等への参加費・災害見舞金等の支出件数		熊本県市長会負担金の増
→ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 交際団体等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件
		→ ア: 市に参加を要請された件数
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 各団体等との交流を図ることにより市政への意見を聞くことができ、市が活性化する。		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) %
		→ ア: 目的どおり支出された割合
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア 件	140	120	130	130	130	130	130	130	130
② 対象指標	ア 件	590	590	400	590	400	400	400	400	400
③ 成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	100	100
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,170	1,097	1,477	1,196	1,345	1,507	
	(A) 事業費計	千円	1,170	1,097	1,477	1,196	1,345	1,507	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	0	2	3	2	3	0	0
	延べ業務時間	時間	0	400	1,604	969	1,604	0	0	
	(B) 人件費計	千円	0	0	6,390	3,833	6,390	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,170	1,097	7,867	5,029	7,735	1,507	0	

事務事業名	交際事業	所属部	総務部	所属課	秘書政策課
-------	------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 数多くの案内等に対し、できる限り出席するようにしている。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 適正な支出を行っており、向上の余地がない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 実費相当額のみであるため、削減の余地なし。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 アウトソーシングにはなじまない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域や各種団体からの案内に対しては公平公正に出席し、必要に応じた会費等の支出をしている。また、金額についても基準を設けており、公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市長案内に係る事業であり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

基準に基づいて公平公正に執行している

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						